

証券コード:5013

 ユシロ化学工業株式会社

第86期

中間報告書

2018年4月1日 ▶▶▶ 2018年9月30日

The Way
Of Mutual Progress

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は70有余年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第86期第2四半期(中間期)の事業の概況についてご報告申し上げます。

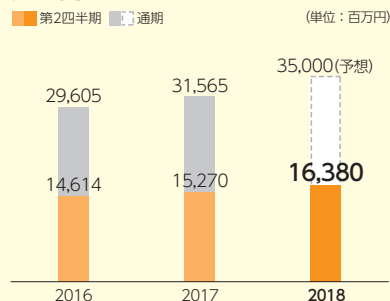


代表取締役社長

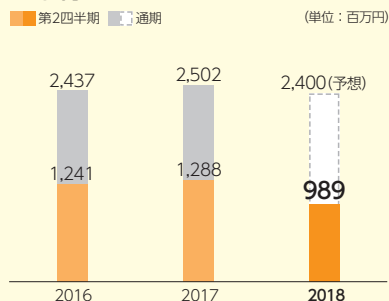
大胡 新一

連結財務ハイライト

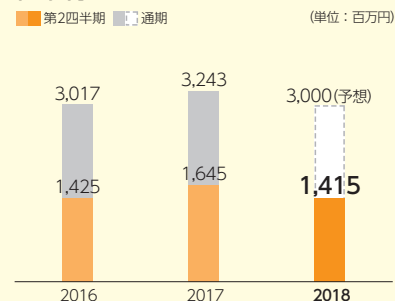
売上高



営業利益



経常利益



事業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、トランプ政権の対中国をはじめとする保護貿易主義を巡る各国との対立及び中東・北朝鮮情勢の緊迫化等の景気悪化のリスク、そして中国経済の減速基調が続いているものの、欧米諸国の堅調さから引き続き景気回復基調にあります。また、日本経済においても豪雨等の自然災害による一時的な景気停滞の可能性はありましたが、底堅い雇用・所得情勢により世界経済同様に景気回復が続いております。

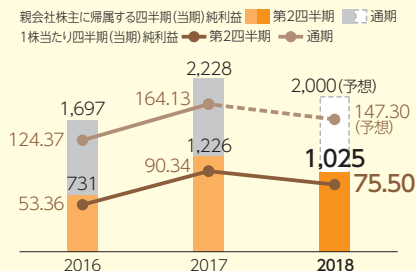
このような環境下、売上高は前年同期比7.3%増の16,380百万円となりました。また、営業利益は前年同期比23.2%減の989百万円、経常利益は前年同期比14.0%減の1,415百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比16.4%減の1,025百万円となりました。

利益配分に関する基本方針 及び当期の配当

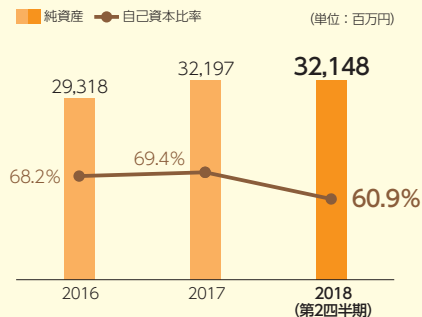
当社は、グローバルな事業展開及び連結業績を勘案した利益還元を当社の利益配分に関する基本方針としており、株主の皆様に対しても企業価値向上のための設備投資を考慮した上で利益還元することとしております。

中間配当金につきましては、2019年3月期第2四半期業績を踏まえ、20円とすることを決議いたしました。期末配当金につきましては25円とし、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて45円となる予定であります。

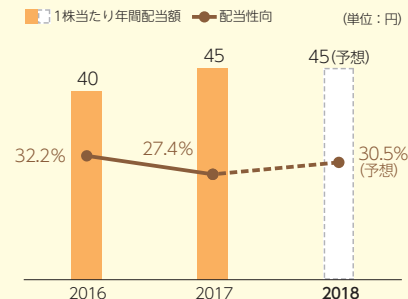
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



純資産/自己資本比率



1株当たり年間配当額/配当性向



● セグメント情報 (2018年4月1日から2018年9月30日まで)

セグメント
ハイライト

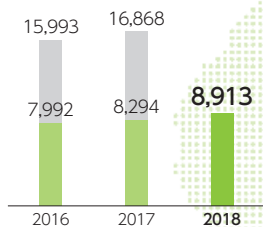
全セグメントにおいて前年同期比で増収となりましたが、原材料費高騰等の影響により全セグメント2018年8月31日をもってQualiChem, Inc.株式の100%を取得し、同社が南北アメリカセグメントに



堅調な国内自動車生産及び拡販に努めた結果、セグメント売上高は前年同期比7.5%増の8,913百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は原材料費高騰により、前年同期比14.3%減の442百万円となりました。

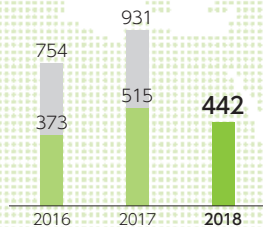
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



セグメント利益(営業利益)

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



連結子会社

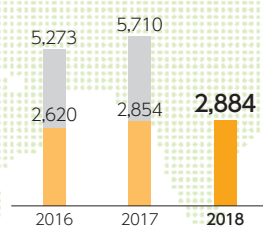
- ユシロ運送株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
- 日本シー・ビー・ケミカル株式会社



日系自動車メーカーの生産台数の減産影響はありましたが、各拠点とも前期実績を上回った結果、セグメント売上高は前年同期比1.1%増の2,884百万円となりました。しかしながらセグメント利益は、ブラジルでのレアル安に伴う原材料費高騰及びアメリカ子会社でのM&A関連費用(129百万円)により前年同期比61.3%減の110百万円となりました。

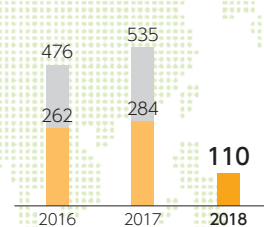
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



セグメント利益(営業利益)

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



連結子会社

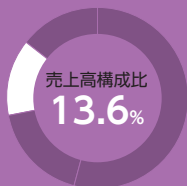
- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc.[米国]
- QualiChem, Inc.[米国]
- ユシロブラジルインダストリアケミカLtda.[ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V.[メキシコ]

持分法適用関連会社 …………… 汎宇化学工業株式会社(韓国) 株式会社汎宇(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

において前年同期比で減益となりました。

追加となりました。なお、当中間期の売上高及びセグメント利益(営業利益)には同社の業績は含まれておりません。

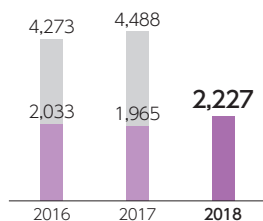
中国



日系自動車メーカーの生産増によりセグメント売上高は前年同期比13.4%増の2,227百万円となりました。セグメント利益は、原材料費高騰により前年同期比15.2%減の148百万円となりました。

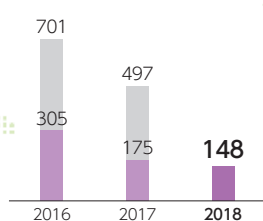
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



セグメント利益(営業利益)

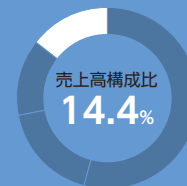
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]
- 啓東尤希路化学工業有限公司[中国]
- 広州尤希路油剂有限公司[中国]
- 泰興西碧化学有限公司[中国]

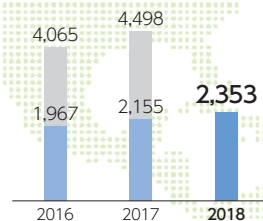
東南アジア インド



タイ・インドネシアを中心に好調な自動車生産に牽引され、全ての拠点で売上高は前年同期実績を上回りました。その結果、セグメント売上高は前年同期比9.2%増の2,353百万円となりました。セグメント利益は、原材料費高騰を増収効果で補うことができず前年同期比7.6%減の290百万円となりました。

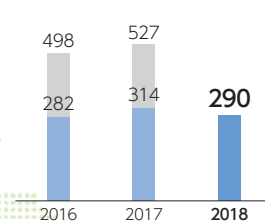
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



セグメント利益(営業利益)

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



連結子会社

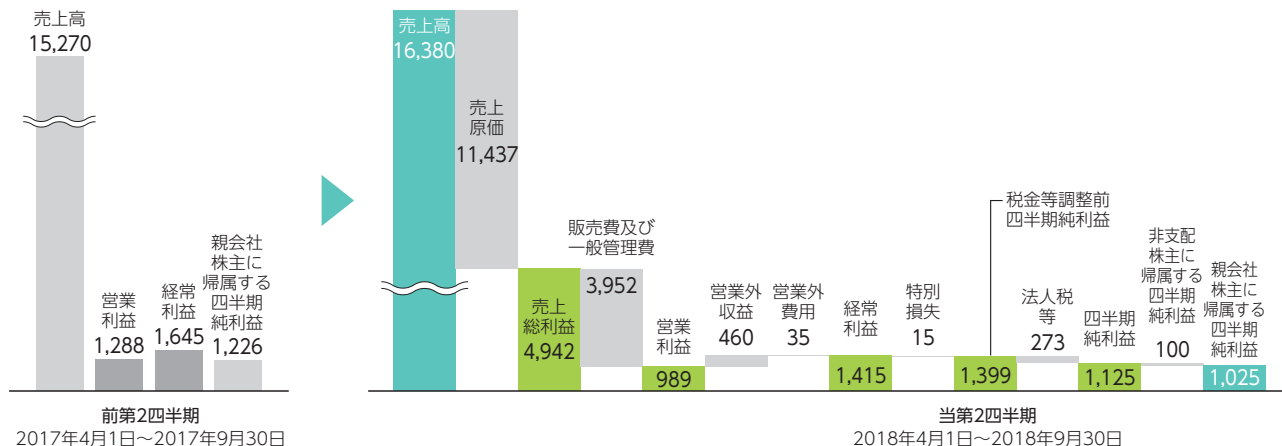
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- Siam Cee-Bee Chemical Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

● 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

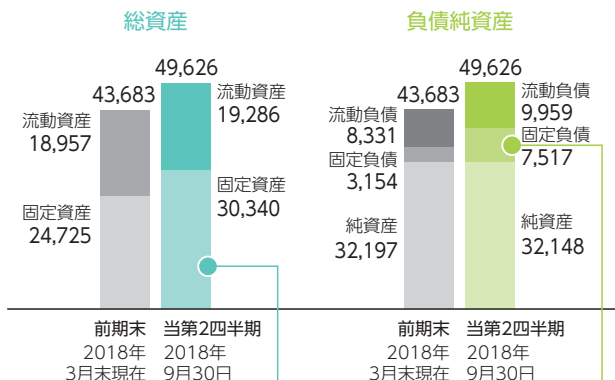
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



POINT

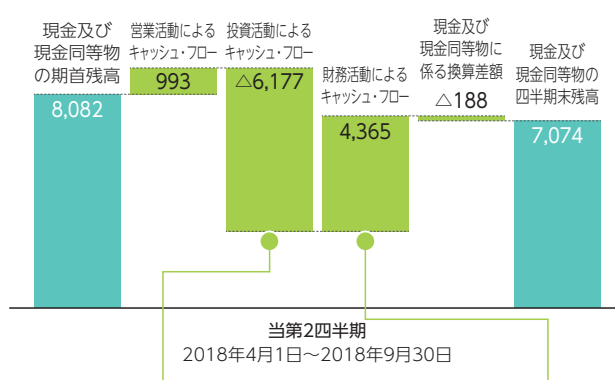
固定資産は「のれん」が増加したこと等により5,614百万円増加しました。

POINT

固定負債は「長期借入金」が増加したこと等により4,363百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

投資活動によるキャッシュ・フローは「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」6,228百万円等により支出超過となりました。

POINT

財務活動によるキャッシュ・フローは「長期借入れによる収入」5,100百万円等により収入超過となりました。

● 会社データ (2018年9月30日現在)

■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	305名(連結1,030名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 役員

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	有坂 昌規
常務取締役	菊池 慎吾
取締役	濱元 伸二
取締役	石川 拓哉
取締役	高橋 誠司
取締役*	片山 久郎
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	山口 豊
取締役(監査等委員)*	小柴 美樹(現姓 大鐔)
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

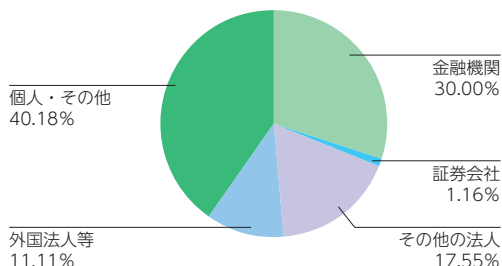
*は社外取締役です。

● 株式情報 (2018年9月30日現在)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,213名

所有者別株式分布状況



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	1,057	7.78
ユシロ化学工業取引先持株会	868	6.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	660	4.86
株式会社三井住友銀行	622	4.58
スズキ株式会社	549	4.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	371	2.73
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.32
ユシロ化学工業従業員持株会	301	2.22
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
長瀬産業株式会社	243	1.79

*当社は、自己株式322千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.yushiro.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページのご案内

最新ニュース、決算情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を掲載していますので、ご利用ください。

ユシロ化学工業

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



単元未満株式を ご所有の株主様へ

単元未満株式(1~99株)については市場で売買することができませんが、口座管理機関(証券会社等)*を通じ、当社に対して**買取請求(売却)**をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関にお問い合わせください。

※特別口座に登録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

(例) 株主様が60株ご所有の場合

【買取請求(売却)の場合】



特別口座を ご利用の株主様へ

特別口座に登録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **ユシロ化学工業株式会社**

URL <https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。